

平成26年9月11日

保護者 様

千葉市立稲毛高等学校・附属中学校
校長 山本 昭裕

デング熱の感染予防について（お知らせ）

日頃は教育活動にご理解ご協力いただきましてありがとうございます。

さて、TV等の報道でご承知のことと存じますが、千葉市内でデング熱患者の発生がありました。

つきましては、感染予防に関する下記事項をよくお読みいただき、ご家庭でも放課後や休日の活動でご注意いただくようお願いいたします。

記

- 1 蚊が多く発生していると思われる場所（藪^{やぶ}や木陰など）への立ち入りや活動を避ける。
- 2 戸外で活動する際は、長袖、長ズボンを着用するなど、肌の露出をなるべく避けて、蚊にさされないように留意する。
- 3 虫よけスプレー等を利用して、蚊を寄せ付けないようにする。
※虫よけスプレー等を学校で使用する際は、使用する場所や時間を考えて使用すること。
- 4 屋外での蚊の幼虫の発生源を作らないように努めるとともに、屋内での蚊の駆除を心がける。
（蚊は、下水溝や廃タイヤの中等の人工的な水辺環境下でも産卵し、増殖します。）
- 5 発熱等の症状が出た場合には、早めに医療機関を受診する。

デング熱の症状

発熱、頭痛、筋肉痛や皮膚の発疹などが主な症状です。

発熱は、2～7日間持続し、初期症状に続き、全身の筋肉痛、骨関節痛、全身倦怠感等がおこります。発症後3～4日後、胸部、体幹から始まる発疹が出現し、四肢、顔面に広がります。症状は1週間程度で回復します。

なお、ごくまれに一部の患者において、発熱2～7日後、致死的な病態が出現することがあります。

・千葉県教育庁教育振興部 学校安全保健課 発行「知得情報」より抜粋